

教科	理科				
科目	物理基礎	単位数	2 単位	履修年次	1 年次～
使用教科書	『新編 物理基礎』（東京書籍）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う） ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

①物体の運動とエネルギーについて、基本的な概念や法則に関する知識を身に付け、自然の現象を科学的に探究する技能を身に付けるようにする。 ②物体の運動とエネルギーに関する現象の中に問題を見だし、科学的に考察し、考えを的確に表現できるようにする。 ③物体の運動とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする態度を養う。
--

3 指導の重点

- ①自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識が身につくようにする。
- ②実験や観察の方法を一人一人が直接体験によって身につけるようにする。
- ③計算問題を解けるようにする。また、数と量を把握できるようにする。

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動	教科書 副教材 授業プリント	速さと速度・加速度について、直線運動を中心に理解する。	12	取組状況 課題 提出物 定期考査
	第2章 力と運動		運動の三法則を理解する。	12	
	第3章 仕事とエネルギー		仕事と仕事率、力学的エネルギー保存の法則を理解する。	11	
後期	第2部 物理現象とエネルギー 第1章 熱とエネルギー	教科書 副教材 授業プリント	熱の移動及び熱と仕事の変換について理解する。	11	取組状況 課題 提出物 定期考査
	第2章 波とエネルギー		波の性質について、直線上に伝わる場合を中心に理解する。	12	
	第3章 電気とエネルギー 第4章 エネルギーとその利用		人間生活に様々なエネルギーが関わっていることを理解する。	12	
	計		70	(50分授業)	

5 課題・提出物等

- ・ 授業プリント
- ・ 課題プリント
- ・ 実験レポート

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付け、実験などの基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
【評価】 考査や課題・提出物等の「知識・技能」の 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C	【評価】 考査や課題・提出物等の「思考・判断・表現」の 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C	【評価】 取組状況や課題・提出物等の「主体的に学習に取り組む態度」の 達成率が70%以上・・・A 達成率が40%以上・・・B 達成率が40%未満・・・C

8 担当者からの一言

物理現象は、宇宙全体に共通のものです。原理原則をきちんと把握して、様々な現象を観察してください。また、その原理原則を数字を表現し、そのために計算問題もします。数字にはすべて意味があります。数字の意味も考えながら計算問題を解くようにしてほしいと思います。